

# WWWブラウザ

# Hot Line Vol. 7

## THIS MONTH'S TOP NEWS

### ネットスケープコミュニケーター 4.06 日本語版公開!

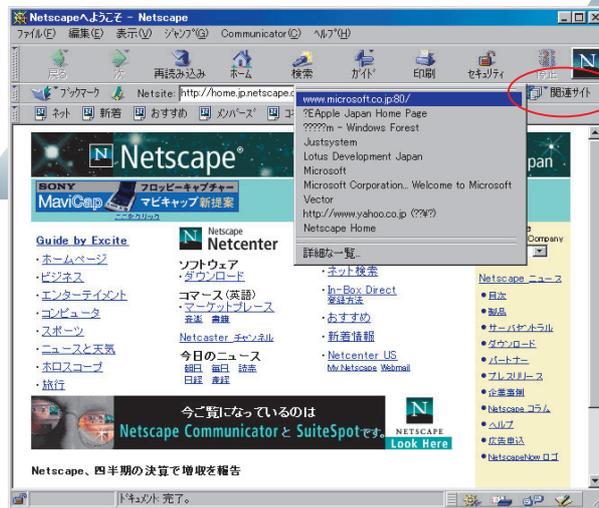
細かいバージョンアップを重ねてきたコミュニケーターのバージョン番号はついに「4.06」となった。数字は0.01しか違わないが、新機能が搭載された4.06は実際には大きなバージョンアップだ。今月はそのほかに、セキュリティー問題や次期コミュニケーターの問題をお届けする。

#### 4.5を先取りした4.06

ネットスケープは、8月中旬に公開したコミュニケーターのバージョン4.06英語版に続き、9月8日に日本語版を公開した。本誌の付属CD-ROMにも収録されている。メールソフトの添付ファイル問題など、これまで報告されているセキュリティー関連の不具合を修正したものだが、次期バージョンの4.5で追加される予定の「Smart Browsing」の各機能が先取りされる形でナビゲーターに組み込まれた。「Smart Browsing」は、関連サイトの一覧を表示する「What's Related」、URLの代わりに自然な単語で目的のページにジャンプできる「Internet Keywords」、家族に見せたくないページをフィルタリングできる「NetWatch」の3つの機能からなる。このほかに、JavaではJDK1.1のサポートが大幅に強化され、また、Macromedia Flashのプラグインが最初から含まれている。なお、ポータルサイトとなったネットセンターのサービスを利用できる「My Netscape」ボタンが4.06英語版のツールバーに加えられているが、日本語版には付いていない。

#### 「関連サイト」ボタンを使ってみよう

日本語版では、「What's Related」は「関連サイト」ボタンとなってURL入力欄の右に追加された。クリックすると、右の図のように現在のページと関連するページの一覧がメニューとなって表示される。一覧を次々にクリックしていけば、これまでになかったナビゲーション感覚を体験できる。この関連サイト機能は、アレクサ社が開発したもので、IE 4に同等の機能を追加するプログラム「アレクサ」も別に公開されているが、ナビゲーターのほうが「IE 4 + アレクサ」よりも軽快に動作し、使いやすい。なお、「関連サイト」ボタンのメニューでは、日本語がまったく表示されない。今後の改善を待ちたいところだ。



4.06日本語版の関連サイトボタンを押したところ。



4.06英語版のツールバー。「My Netscape」ボタンがある

URL:

<ftp://ftp.netscape.com/pub/communicator/4.06/shipping/japanese/>



CD-ROM 収録先

Win Netscape  
Mac NetscapeCommunicator

## Internet Keywords 機能を検証

「Internet Keywords」とは、WWWブラウザではおなじみのURL入力欄にURLの代わりに探したい人物名や会社名、商品名などを入力すると、その情報があるページへ直接ジャンプする機能だ。さっそ

くいろいろな単語を入力してその実力をチェックしてみた。

Internet Keywordsは、以下の順でページを探す。まず、キーワードとページが関連付けられて登録されているものは、即座にそのページに飛ぶ。登録されていないくてもネットセンターのディレクトリーページ

(excite.netscape.com)に項目があれば、そのページへ行く。それでも見つからなければ、検索サイト(日本語版ではinfoseek Japan)へ移動して検索結果を表示する。

Internet Keywordsを使うにはいくつかの注意が必要だ。スペースで区切られた2個以上の単語はすぐに検索されるが、プロキシサーバーを通すと単語1個ではうまくいかないことがある。うまくいかない場合は、「goto apple」のように「goto」を単語の前に付ければよい(ちなみに「goto WWW」ではネットセンターのトップページへ行く)。

正確にジャンプしたように見えても、ドメイン名をとりあえず取っておいたようなページや、名前が同じだけのページにジャンプすることも多い。有名人の名前を入力してもファンの非公式ページに飛んでしまうことがある。Internet Keywordsでは日本語がまったく使えないのも残念な点だ。登録されているページはアメリカが中心で、アルファベットで日本の製品名を入力しても、日本のページへはジャンプしない。今のところは、思いつくまに単語を入力して遊びで使ってみるのがよさそうだ。

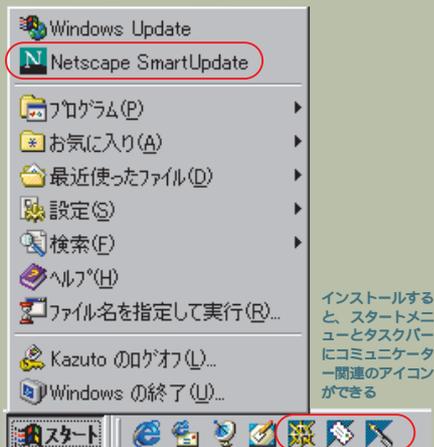
## ★★★コンゲツ」TOPICS!★★★

### ネットスケープコミュニケーター4.5プレビューリリース2公開

ネットスケープは、コミュニケーター4.5の2つ目のベータ版を「プレビューリリース2」として公開した。現在英語版が入手できる。プレビューリリース1からの変更点は、3Com社のPalmPilotとの間でアドレス帳やメール、カレンダーを同期するためのツールが付いたこと。4.5では、「Smart Browsing」機能のほかに、IMAP4対応の強化など、メールやスケジュール機能にも重点が置かれる方向のようだ。正式版は11月までには公開される見込み。なお、4.5プレビューリリース1の日本語版も公開された。

URL:

[ftp://ftp.netscape.com/pub/communicator/4.5/4.5\\_PR2/](ftp://ftp.netscape.com/pub/communicator/4.5/4.5_PR2/)



### IEに2つのセキュリティー問題

マイクロソフトは、ウィンドウズ95、98、NT4.0版のインターネットエクスプローラ3および4のJavaScriptにセキュリティー問題があることを明らかにした。悪意のあるサイトがスクリプトを使って「Window.External」に非常に長い文字列を指定して、有害なプログラムを実行できる可能性があるというもの。これまで何度も問題になってきた「バッファオーバーラン」の問題だ。この問題の修正プログラムは、下記のURLから入手できる。また、UNIX版を除くすべてのIEに影響する「Cross Frame」問題が公表された。フレーム間で操作を行うスクリプトに問題があるようだが、詳しくは不明。日本語版の修正プログラムは、9月11日現在まだ公開されていない。

URL:

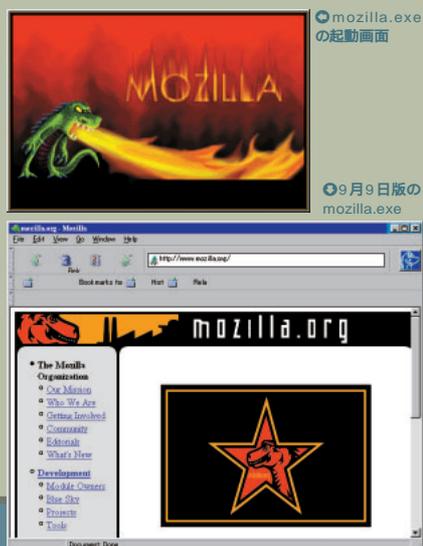
<http://www.microsoft.com/japan/security/>

### コンパイル済みのコミュニケーター5.0が入手可能に

ソースコード公開によって次期ネットスケープコミュニケーター5.0の開発を進めているmozilla.orgのFTPサイトで、コンパイル済みのコミュニケーター5.0(mozilla.exe)が毎日公開されるようになった。これまではソースコードだけが提供され、実行ファイルを作るには面倒なコンパイル作業をしなければならなかったが、これでだれでも次期コミュニケーターを体験できるようになった。ただし、実行にはVisual C++のデバッグ用のDLLファイルが必要。また、開発途中のプログラムでどんなバグがあるかわからないため、実行すると「あなたのファイルがすべて削除されるかもしれない」と警告される。

URL:

<http://www.mozilla.org/>





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)